

JR
総連

闘争本部情報

第1号

全日本鉄道労働組合総連合会 <http://www.jr-souren.com/>

組織破壊攻撃に万全の体制を構築しよう！

JR総連 闘争本部を設置

JR総連・JR東労組のテロリスト呼ばわりを許さない！

『週刊現代』を契機とした組織攻撃を許すな！

三鷹事件の発生と同じ7月15日、『週刊現代』に「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実」という見出し記事の連載が開始されました。そこにはJR総連やJR東労組があたかも「過激派」であり、「革マル派」であり、「テロリスト」であるかのように描かれ、現在までに9回の連載がおこなわれています。内容は公安情報を中心に、『小説労働組合』の文中からも多くを引用し、安全や平和を求める方針を掲げて闘う全うな労

働組合を罵倒し、あらん限りの誹謗中傷をするなど、全くのデタラメです。

こうした報道を、そしてその報道を通じたJR総連への弾圧を、私たちは断じて許すことはできません。

JR総連は9月19日、緊急拡大代表者会議を開催し、反撃の全包围網を構築するための意思統一をおこないました。あわせてJR総連に闘争本部を設置し、最前線で闘うことを表明しました。

御用組合と繋がる攻撃の本質を見据え、職場から具体的に反撃を！

2001年の『9・11テロ』発生直後、松崎元顧問は誰が何のために戦争を起し、未来への警鐘を鳴らす『鬼の咆哮』を発刊。JR総連は、「テロにも戦争にも反対」であることをいち早く打ち出し、同時に労働組合として平和を求めて闘う姿勢を堂々と表明。アフガン支援を掲げ、戦争の悪と闘うことを訴え、戦禍での犠牲者の自立支援目指した活動を開始しました。

一方で1994年に『JRに巣食う妖怪』という週刊誌記事や、その後の国会での意識的な質問から始まったといえる「JR総連=革マルキャンペーン」は、以降も波状的に繰り返されてきました。そして今回、『週刊現代』記事に呼応する御用組合=JR連合は、国会議員やマスコミ、労働団体や図書館、社宅にまでば撒き、職場の掲示板には「テロ集団！JR総連の実態」

などの見出しをつけた雑誌のコピーを貼り出すなど、大宣伝に加担しています。彼らは組合費でこの週刊誌を2万部以上も買い取り、配布していると言われていきます。加えて『小説労働組合』の発行・



配布、組合員による「告訴」、「JR東日本を良くする会」なる者らの「署名」提出や、その加盟組合員による情報公開請求、週刊誌面での実名での大宣伝...など、組織混乱を起すような事態が意図的におこなわれている

ます。

また、JR東海葛西会長の国家公安委員就任、新たに首相となった安部氏との親密な関係、警視庁元公安二課長のJR東海関連会社への天下り、列車妨害の多発、怪電話、12・7の家宅捜索をはじめ「横領事件」のデッチ上げ...これらの事象はすべて一本の線につながります。つまり、弾圧は単なる弾圧ではなく、強大な背景をもった分厚い政治弾圧であるのです。

歴史的には1949年、戦後三大謀略事件が発生。デッチ上げ逮捕や労働組合内部に別組織がつくられ、労組の弱体化を通じて、大量の労働者の首が切られました。そしてその後、日本は朝鮮戦争へ加担をしてきたのでした。まさに現在の弾圧は、この時代と酷似しています。

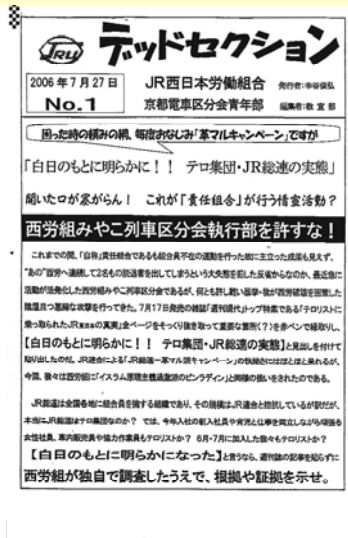
第九章	愚かなる民よ 何が正しいかを知れ 他衛隊が戦地へ行く
第八章	
第七章	戦争は権力者の利益のために遂行される
第六章	戦争構造に異議申し立てをする自我をもて
第五章	経済危機とともにやってくるファシズム
第四章	歴史の教訓を忘れた労働組合、朝日
第三章	誰が日本参戦への道を開いたか
第二章	小泉政権下で恐るべき事態が進行している
第一章	9・11テロと米報復の裏を読み

鬼の咆哮 暴走ニッポン！
世紀の犯罪人フッシュ、ブレア、小泉

JR総連は、こうした歴史を教訓に、強大な政治弾圧に対して職場から堂々と反撃の議論をおこなうことを呼びかけます。

反撃の橋頭堡を職場から創造しよう！ JR西労の新たな仲間も堂々と反撃

御用組合 = 西労組から訣別した組合員は、以下の掲示を自ら張り出し、攻撃に立ち向かっています。



...本当にJR総連はテロ集団なのか? では、今年入社の新入社員や育児と仕事を両立しながら頑張る女性社員、車内販売員や協力作業員もテロリストか? 6・7月に加入した我々もテロリストか?【白日の下に明らかになった】というのなら西労組が独自で調査したうえで、根拠や証拠を示せ。しかし、なぜ西労組役員はこんなに必死なのだろうか。我がJR総連・西労はテロ集団であるというブツ飛んだ支離滅裂な理論はどこから派生するのか? まさか、「国鉄時代がそうだった」「周りがそう言っている」「警察庁・公安調査庁の調査で明らか」を鵜呑みにしているわけではないだろう。他人の力を借りなければ騒ぐことも攻撃する事もできない卑怯者を、「スネ夫」と呼ぶのである。

...我々は本来加入すべき自身の姿、本来加入すべき組合に戻った訳であり、西労組役員の皆様の管理監督不足が(脱退の)原因ではない。(省略)西労批判を繰り返すことで「運行優先・責任転嫁・異常な労務管理」の事実を隠蔽する動きや、ボーリング大会を性懲りもなくおこなう神経が脱退に至った原因のごく一部

JR東労組が「反弹圧闘争本部」を設置 反弹圧の全国展開へ!

弾圧攻撃の矢面に立つJR東労組は9月19日、「一切の組織破壊攻撃を許さず、秋のたたかいを全組合員の総力を結集し闘い抜こう!」と反弹圧闘争本部を設置しました。JR総連OB連絡会も9月16日におこなった第三回定期総会での「総会宣言」で、

「反弹圧・総団結の一枚岩を築いていく」ことを意思統一しました。

JR総連に結集する仲間は、さらに全国で、全単組・全組合員で、反弹圧・総団結の闘いを自ら創造し、断固闘いぬこう!